

令和6年度第1回広島県FM連絡会議 開催報告

広島県 FM 連絡会議代表幹事：広島県

令和6年度第1回目の広島県FM連絡会議（自治体等FM連絡会議広島県地域会）を、令和6年7月5日（金）に広島県庁本館6階講堂において開催しました。当日は、広島県内の自治体から合計21名が参加しました。

県職員を対象とした「広島県ファシリティマネジメント研修会」も兼ねて開催した第1部は、横浜市財政局ファシリティマネジメント推進部ファシリティマネジメント推進課担当係長小林信言様の講演を実施していただき、参加した職員等は会場で資料を投影したスクリーンを見ながら、聴講しました。

小林様より、「横浜市のFMの取組」と題して、横浜市のFMの概要、横浜市の公共事業を取り巻く状況、公共施設の適正化の必要性、ファシリティマネジメントの推進、横浜市公共施設等総合管理計画、横浜市の取組紹介について、具体例や実績を交えた御説明をいただきました。

また、中国財務局管財部管財総括第二課総括専門官の内藤雄大様には、「国公有財産の最適利用及び有効利用について」御講演いただきました。国と地方公共団体が連携した国公有財産の最適利用について、国及び市施設の合築の具体的な集約事例として、山口県宇部市の宇部市新庁舎への税務署入居の事例を御説明いただきました。

第2部では、「施設の評価方法について、また評価後の施設の扱い～その後の課題など～」をテーマに、アドバイザー池澤龍三様に御説明をいただきました。他県の複数の事例や、先進的な取組等を資料を交えてお話しいただき、その後、参加自治体を4グループに分け、各市町の取組状況や課題について、意見交換を行い、取りまとめと結果の発表を行いました。

最後に、今年度第2回の広島県FM連絡会議については、広島市において開催予定である旨を案内し、会議を閉会しました。

今回の連絡会議は、平成26年度に設置以来、18回目となります。次回以降も、県内外を問わず、この会議での情報交換・意見交換を通して各自治体が結びつきを深め、これからの課題を克服し、広島県全体でのファシリティマネジメントの拡大及び向上を目指し、取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも皆様の御協力をお願いします。